

2022年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2021年6月29日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ケーヨー

コード番号 8168

URL <https://www.keiyo.co.jp>

代表者（役職名）代表取締役社長

（氏名）醍醐 茂夫

問合せ先責任者（役職名）取締役経営企画統括部長兼広報部長

（氏名）北村 圭一（TEL）043-255-1111

四半期報告書提出予定日 2021年7月8日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無：無

四半期決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 2022年2月期第1四半期の業績（2021年3月1日～2021年5月31日）

（1）経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年2月期第1四半期	28,381	△8.7	1,958	△24.0	2,174	△21.9	1,418	△21.4
2021年2月期第1四半期	31,073	9.6	2,577	—	2,785	496.1	1,804	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年2月期第1四半期	21.77	—
2021年2月期第1四半期	27.70	—

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年2月期第1四半期	82,852	46,222	55.8
2021年2月期	81,088	46,445	57.3

（参考）自己資本 2022年2月期第1四半期 46,222百万円 2021年2月期 46,445百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年2月期	—	6.25	—	6.25	12.50
2022年2月期	—	—	—	—	—
2022年2月期（予想）	—	6.25	—	6.25	12.50

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2022年2月期の業績予想（2021年3月1日～2022年2月28日）

（%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	56,200	△8.8	3,300	△22.0	3,650	△20.2	2,050	△17.9	31.47
通期	106,200	△6.4	4,900	0.2	5,650	0.8	3,050	0.2	46.82

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

2022年2月期1Q	65,140,184株	2021年2月期	65,140,184株
2022年2月期1Q	4,096株	2021年2月期	3,986株
2022年2月期1Q	65,136,112株	2021年2月期1Q	65,136,779株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
第1四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(追加情報)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間（2021年3月1日～2021年5月31日）におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の感染再拡大や変異ウイルスの感染者数増加に伴い、緊急事態宣言及びまん延防止等重点措置が発出され、人流を抑えるため経済活動の抑制が継続されており、依然として先行き不透明な状況が続いております。

小売業界におきましては、同業他社や他業態との競争が激化している中、長期化する経済活動の抑制による個人消費への影響や新型コロナウイルス感染症対策による営業活動への影響など、依然として厳しい経営環境となっております。

このような状況のもと、当社におきましては、お客様と従業員の安全を最優先に新型コロナウイルス感染症対策として、消毒・清掃の徹底、身体的距離の確保、従業員の検温等のあらゆる対策を継続しながら、社会的インフラとしての役割を果たすため、地域のお客様の日常生活・くらしを支える商品の安定供給、新たな生活様式への商品提案に努めてまいりました。

販売拠点につきましては、5月に全面改装によるリニューアルオープンを3店舗で実施しました。また、計画通り、5月に1店舗（稲沢店：愛知県稲沢市）を閉店しております。

以上の結果、新しい生活様式として定着しつつあるDIY・園芸用品、テレワーク用家具等の需要が拡大する中、ガーデニング用品、自転車、キャンピング用品等の感染対策を行いながらも活動できる商品群が好調に推移しました。一方、前年に需要が急拡大したトイレットペーパー等の紙製品や除菌液、透明シート等の感染防止対策用品、トレーニング用品等の反動減の影響により、当第1四半期累計期間の売上高は283億81百万円（前年同四半期比91.3%）となりました。利益面では、DCM商品への入替効果及びDIY・園芸用品の伸長により荒利益率が改善した他、前年の緊急事態宣言時には、折込チラシの中止や営業時間短縮などの特殊与件により、広告宣伝費、人件費等が大幅な減少となり、それらの反動による経費の増加要因がありましたが、人件費を中心とした経費コントロールを行い、前年以下に抑えた結果、営業利益19億58百万円（前年同四半期比76.0%）、経常利益21億74百万円（前年同四半期比78.1%）、四半期純利益14億18百万円（前年同四半期比78.6%）と前年を下回っておりますが、概ね計画通りの結果となりました。

（2）財政状態に関する説明

当第1四半期会計期間末の総資産は828億52百万円となり、前事業年度末に比較し17億64百万円増加いたしました。主な要因は土地33億50百万円、商品11億62百万円の増加と一方、投資有価証券18億9百万円、現金及び預金12億16百万円の減少などによるものです。

負債合計は366億30百万円となり、前事業年度末に比較し19億88百万円増加いたしました。主な要因は支払手形及び買掛金42億34百万円の増加と一方、未払法人税等9億51百万円、流動負債その他に含まれる未払消費税等7億30百万円、店舗閉鎖損失引当金1億88百万円、固定負債その他87百万円の減少などによるものです。

純資産合計は462億22百万円となり、前事業年度末に比較し2億23百万円減少いたしました。主な要因はその他有価証券評価差額金12億34百万円の減少、剰余金の配当4億7百万円、四半期純利益14億18百万円の計上などによるものです。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2021年4月9日の決算短信で公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2021年2月28日)	当第1四半期会計期間 (2021年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,464	5,248
受取手形及び売掛金	1,028	1,456
商品	24,376	25,539
その他	2,607	2,458
流動資産合計	34,477	34,702
固定資産		
有形固定資産		
建物	24,607	24,563
土地	10,205	13,556
その他	14,380	14,333
減価償却累計額	△28,058	△28,111
有形固定資産合計	21,134	24,341
無形固定資産	1,195	1,142
投資その他の資産		
投資有価証券	15,862	14,052
差入保証金	7,857	7,513
その他	899	1,427
貸倒引当金	△252	△242
投資損失引当金	△86	△86
投資その他の資産合計	24,281	22,665
固定資産合計	46,610	48,150
資産合計	81,088	82,852

(単位：百万円)

	前事業年度 (2021年2月28日)	当第1四半期会計期間 (2021年5月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,854	14,089
1年内返済予定の長期借入金	2,545	2,530
未払法人税等	1,677	726
店舗閉鎖損失引当金	371	183
災害損失引当金	55	14
資産除去債務	93	57
その他	6,392	5,490
流動負債合計	20,991	23,092
固定負債		
長期借入金	6,237	6,190
退職給付引当金	4,829	4,869
資産除去債務	679	662
その他	1,904	1,816
固定負債合計	13,651	13,538
負債合計	34,642	36,630
純資産の部		
株主資本		
資本金	16,505	16,505
資本剰余金	13,953	13,953
利益剰余金	10,201	11,212
自己株式	△2	△2
株主資本合計	40,658	41,669
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	5,787	4,552
評価・換算差額等合計	5,787	4,552
純資産合計	46,445	46,222
負債純資産合計	81,088	82,852

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年5月31日)	当第1四半期累計期間 (自 2021年3月1日 至 2021年5月31日)
売上高	31,073	28,381
売上原価	20,095	18,105
売上総利益	10,978	10,275
販売費及び一般管理費	8,401	8,317
営業利益	2,577	1,958
営業外収益		
受取利息	6	4
受取配当金	73	73
受取賃貸料	235	237
その他	128	112
営業外収益合計	444	429
営業外費用		
支払利息	30	17
賃貸収入原価	185	183
その他	20	11
営業外費用合計	236	213
経常利益	2,785	2,174
特別利益		
受取保険金	7	—
固定資産売却益	—	0
特別利益合計	7	0
特別損失		
固定資産除却損	8	3
店舗閉鎖損失	64	139
投資有価証券評価損	53	—
その他	0	14
特別損失合計	126	157
税引前四半期純利益	2,667	2,017
法人税、住民税及び事業税	812	606
法人税等調整額	49	△7
法人税等合計	862	598
四半期純利益	1,804	1,418

（3）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（追加情報）

（新型コロナウイルス感染症拡大に伴う会計上の見積りについて）

会計上の見積りを行う上での、新型コロナウイルス感染症の影響に関する仮定につきましては、前事業年度の有価証券報告書に記載いたしました「重要な会計上の見積り及び当該見積りに用いた仮定」から重要な変更はありません。